

「普段着の付き合い」が育んだ絆

# 柴田町×北上市 姉妹都市締結40周年

昭和55年に姉妹都市提携を締結した宮城県柴田町と北上市。このたび締結40周年を祝う記念式典が行われ、互いの絆をさらに深めました。

問い合わせ 政策企画課 ☎72-8222

宮城県柴田町との姉妹都市締結から40周年を迎え2月10日、ブランニュー北上で記念式典が行われました。式典には柴田町から滝口茂町長や高橋たい子町議会議長、当市から高橋敏彦市長や阿部眞希男市議会議長など、両市町の関係者約100人が出席。両市町長

は、これまでの交流を大切にしながら、さらなる友好関係の構築と相互の発展を誓い合う宣言書に署名し、将来に向けて絆を深めました。

滝口町長は「両市町の発展を顧みても、他の地域と比べものにならないほどの交流の成果が生まれた。今後も関係人口の広がりを図りたい」と話し、高橋市長は「北上市と柴田町はよく似ている。これからも普段着の付き合いを続け、両市町の発展に結び付くことができれば」とさらなる交流を願いました。

その後行われた記念対談では、「写真で振り返る交流のかたち」をテーマに、スクリーンに映し出された写真を見ながら、両市町長がこれまでの交流を振り返りました。

両市町は、企業誘致に力を入れている工業都市であること、桜の名所があること、河川の合流地点であることなど、共通点が多いことから昭和55年1月25日に姉妹都市提携を締結。それ以降、行政や議員同士の交流のほか、ゴルフやマラソン大会への相互参加、伝統芸能など幅広い分野で長年にわたり交流が行われています。また、平成9年11月6日には災害時相互応援協定を締結しました。



1



2



3

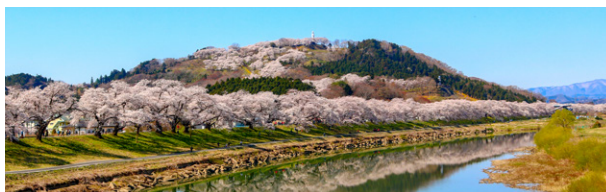


4

①宣言書に署名後、握手を交わす滝口町長(左)と高橋市長(右)②昭和55年の姉妹都市締結調印式③平成9年の災害時相互応援協定調印式④当市から柴田さくらマラソンへ参加するなどの交流が行われています



## 宮城県柴田町



人口約3万8千人、面積54.03km<sup>2</sup>。仙台市から南へ約25kmに位置し、桜の名所・船岡城址公園が有名。宮城県内で第8位の製造品出荷額を誇る工業の町。